

社会系教科マネジメントコース大学院生研究活動実績（2025年度）

○ 論文

- **宮苑聖輝**・吉川修史・内藤翔太・小倉蒼太郎・木村綱輔・吉水裕也・濱野 清・小倉拓郎（2025）官学連携による小学校社会科デジタル学習材・評価問題の開発と授業実践—東条川疏水を中心とした地域学習を事例として—．兵庫地理, 70, 17-34.
- **酒井藤太**・小倉拓郎・小林勇介（2025）令和6年度発行の小学校教科書における防災学習内容の分析—教科横断型防災学習の実態と課題—．防災教育学研究. 6(1), 39-50.
- 吉川修史・松尾駿・**宮苑聖輝**（2025）小学校社会科都道府県学習におけるデジタル学習材の開発—兵庫県を事例として—．兵庫教育大学学校教育学研究, 38, 21-34

○ 学会発表

- 堀尾直希（2026）歴史的解釈を批判的に分析する中学校社会科授業の開発研究—『歴史家のように読む』のアプローチをもとにして，社会系教科教育学会第37年大会．
- 杉浦大輔（2026）「実存的な問い」を用いてレリバンス構築をめざす中東歴史教育授業開発—高等学校地理歴史科日本史探究における実践を事例として—．社会系教科教育学会第37年大会．
- 谷水恵太（2026）学習者のレリバンス形成を目指したパフォーマンス課題と評価方法に関する研究—小学校6年生の歴史学習の事例から．社会系教科教育学会第37年大会．
- 西賀陽平（2026）「自由進度学習」の導入による地理的技能の育成—中学校社会科地理的分野「日本の地域的特色と地域区分」の実践を通して—．社会系教科教育学会第37年大会．
- 松村淳（2026）ナラティブを援用して歴史的意義を構築する授業の開発—歴史総合・小単元「大嶺炭田とルール炭田」を事例として．社会系教科教育学会第37年大会．
- **Sakai, T., Ogura, T. and Hamano, K. (2025)** Evaluating the effectiveness of disaster prevention education based on a cross-disciplinary curriculum: A case study of sixth graders at an elementary school in Awaji City, Hyogo Prefecture, Japan. The 17th Japan-Korea-China Joint Conference on Geography.
- 谷水恵太（2025）小学校社会科における学習者のレリバンス形成を目指したパフォーマンス課題とその評価方法の開発．全国社会科教育学会．

- 西賀陽平（2025）地理的技能の育成をめざす「単元内自由進度学習」の導入-中学校社会科地理的分野「日本の地域的特色と地域区分」の実践を通して. 日本教育方法学会.
- **酒井藤太**・小倉拓郎・小林勇介（2025）教科横断型の防災学習を想定した児童の地震災害リスク認識の基礎調査—兵庫県淡路市の小学校における事例—. 日本地球惑星科学連合 2025 年大会.

○ その他活動実績

- 受賞：Young Geography Award（酒井藤太）
- 社会貢献：東条川疏水学習事前準備応援セミナー講師（宮苑聖輝）
- 宮苑聖輝（2025）官学連携による小学校社会科デジタル学習材・評価問題の開発と授業実践：東条川疏水を事例として. 第1回：地域教材シンポジウム